

山梨日日新聞社 新聞印刷センター

The Yamanashi Nichinichi Shimbun Newspaper Printing Center

No. 12-034-2014作成

新築

工場・物流施設

発注者	株式会社 山梨日日新聞社	カテゴリー				
設計・監理	三菱商事株式会社一級建築士事務所 大成建設株式会社一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	大成建設株式会社	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

甲州の美しい自然に佇む、大災害にも耐え得る最新鋭の新聞印刷センター



正面全景

県民に愛される情報発信拠点の構築

明治5年（1872年）に創刊、日本で最も古い県紙である山梨日日新聞は発行部数約21万部、山梨県全世帯の3分の2の普及率を誇る「県民に愛される新聞」である。

平成6年（1994年）より別敷地にて約20年稼働した新聞印刷センターの更新施設として、本建物は計画された。

新聞社の数ある使命の一つは、大災害時も新聞発行を止めることなく読者に届けることであるが、2011年3月の東日本大震災以降、新規に計画された新聞印刷工場は、従来との比較でより高度なBCP対応を図る傾向が強くなっている。

上記を受け、建築計画に際しては以下の3つを柱とした。

- ①美しい眺望を効果的に取り入れた建物デザイン
- ②見学者対応の充実
- ③ヘリポート、免震構造、非常用発電機等によるBCP対応



南に富士山を望む

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	ERR (CASBEE準拠)	42 %	
竣工年	LCO2削減	14 %	
敷地面積			
延床面積			
構造			
階数			

美しい眺望を導入する窓デザイン

敷地の南側に富士山、西側に南アルプス、北側に八ヶ岳を望むロケーションを最大限居室内に導入すべく、事務・厚生エリアに連達窓を配し、執務中の合間や休憩時に、四季折々の美しい風景や山並みを目にするという最高に贅沢なリフレッシュメントを提供する。



事務エリアより望む富士山



厚生エリアより望む南アルプス

愛される新聞印刷センターを目指して

県紙という特性上、数多くの見学者がセンターを訪問する。安全面の配慮と臨場感を両立した見学を提供する為、各所に大面積の見学窓を設置し、最新鋭のオフセット新聞輪転機に代表される数々の生産設備の稼働状況を安全なエリアにてレクチャーを受けながらの見学を可能とした。



輪転機見学が可能なエントランスホール



大ホールより窓越しに臨む輪転機

太陽光発電による自然エネルギーの積極的活用

山梨県は国内で第1位の日照時間（年間2461.5時間：甲府市・2013年度データ）を誇り、太陽光発電の最適地である。建物の屋上と敷地内のヘリポート周辺に太陽光パネルを設置し、最大350kw（約100世帯分の電力に相当）を電力会社に供給する。



空撮による全景（写真提供：山梨日日新聞社）

紙資源のリサイクル活用

新聞印刷時に生じる損紙（商品にならない新聞）や、販売店より回収した古新聞を敷地内のリサイクルセンターにて圧縮し、製紙会社にて再資源化する。

大災害時にも新聞社の機能を止めない総合的なBCP対応

ヘリポート：取材用・救援用のヘリコプターの離発着が可能。常に一定量の航空用燃料も備蓄し、災害時に備える。

基礎下免震による全館免震：積層ゴム支承と弾性すべり支承を組み合わせた大成建設独自のハイブリッドTASS構法採用により高い免震性能を発揮し、人命、建物及び生産設備機器の保護を確実なものとする。

非常用発電機（容量2000kVA）：停電が続いても約2週間に渡り、輪転機を十分に稼働させた新聞製作を可能とする。

本社代替機能：甲府本社障害発生時には大ホールが臨時編集局となる。またサーバーームで本社のデータバックアップを行う設備を構築する予定。

設計担当者

三菱商事株式会社一級建築士事務所 建築：花田賢弘、鏡正克/構造：井上哲士朗/設備：河角真人、仲谷正和
大成建設株式会社一級建築士事務所 建築：尾島寛和、飯吉厚太、玉嶋崇/構造：早部安弘、渡辺征見、安藤広隆/設備：岸野豊、吉永實、造藤見、石島和明、板橋正弘、加藤勇太

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（基礎下免震による全館免震の採用、非常用発電機）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（新たなシンボルの形成）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（生産エリア見学者用窓を有する諸室の整備による、充実した見学者対応）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（高性能ガラス）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（太陽光発電設備）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED照明、照明の人感センサー制御）